



12月 園だより

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。
この方こそ主メシアである。

(ルカによる福音書 2章 11 節)

あちらこちらでイルミネーションが輝きはじめ、子どもたちも心を弾ませて過ごしているようです。
園ではアドベントの期間に入り、イエスさまのお誕生を静かに待ち望む準備をしています。

子どもたちがろうそくの灯りを見つめながら、「もうすぐクリスマスだね」「赤ちゃんイエスさまが生まれた日だよ」と話す姿は、とても温かく、ときめきに満ちています。

「アドベントってなあに？」

アドベントとは、イエスさまのお誕生をお祝いするクリスマスに向けての4週間を指す、キリスト教の伝統的な期間で、クリスマスの4つ前の日曜日から始まります。ラテン語で「到来」を意味し“大切な出来事を心静かに待つとき”として世界中の教会やキリスト教保育の場で大切にされています。

保育園でも毎週1本ずつろうそくに火を灯して、アドベント礼拝を行います。灯りが一つずつ増えていく様子は、子どもたちに「希望・喜び・愛・平和」の心を自然と感じさせてくれます。お家の方にも、“あたたかな光に包まれて家族でゆっくり過ごす時間”としてアドベントの豊かさを感じていただけたらと願っています。

この期間、年長さんが小さいお友だちと一緒に飾り付けをしたり、讃美歌を優しく歌ってくれたりと温かい触れ合いがたくさん見られます。神さまの愛に見守られながら、子どもたちがお互いに思いやりをもって過ごす姿は、まさにクリスマスの喜びそのものです。

年末は何かとあわただしく、ついテレビやスマートフォンに時間を取られがちです。クリスマスの時期こそ、ゆっくり絵本を読んだり、一日の終わりに「ありがとう」を言い合ったり…そんな心温まる時間を一緒に持ってみてはいかがでしょうか。

今年も子どもたちの成長を共に見守らせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。お家の皆さまにとっても、平和と喜びに満ちたクリスマスが訪れますように。

クリスマス 子どもの祈り

クリスマスの支度が始まることをうれしく待っていました。
心を込めてイエスさまのお誕生をお祝いできますように。

私たちはそれぞれお顔も体も心も違いがあります。

違うことは豊かで楽しいことです。

いろいろな人たちと仲良くできますように。

クリスマスをみんなでお祝いできますように。アーメン



クリスマスに誰かのことを思いましよう。

その方と神さまが共にいてくださることをお祈りましよう。